

栽培マニュアル (れんげ米いちほまれver)

いちほまれ品質基準
 ◎検査等級 1等
 ◎玄米水分 14.5～15.5%
 ◎玄米タンパク含有率 6.4%以下

月旬別	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
時期	育苗期						田植期・活着期	有効分げ時期						無効分げ時期	幼穂形成期			出穂期	登熟期			収穫期	排水対策の実施 稲わらの鋤き込み れんげ播種
水管理																			土づくり				
管理作業	<p>食味を向上させる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> れんげすき込み 竹炭 無人田植機等 (直進アシスト) ラジコンホバークラフトチェーン除草 ドローンセンシング 登熟期間 収穫 土づくり <p>田植後は10cm程度の深水管理に ガスが発生したら田干し 目標茎数400本/m² 中干し 収穫直前まで間断通水</p> <p>出穂35～45日前の粒状草木加里施用 出穂以降の夜間灌漑 乾燥時の品質低下防止</p>																			<ul style="list-style-type: none"> 10月中旬に、次年度のれんげの種を2kg/3kg/10a播種する。 			

【れんげの被覆量に応じた基肥追肥量の目安】

れんげ被覆率 (%)	れんげの生育	予想される窒素肥効 (kg/10a)	有機アグレット674 基肥追肥 (kg/10a)
90以上	過剰	5	—
70～80	適性	4.4	—
50～70	やや少ない	3	20 (窒素1.2kg)
30～50	少ない	2.3	30 (窒素1.8kg)
20～30	非常に少ない	1.5	40 (窒素2.4kg)
0～20	極端に少ない	—	50 (窒素3.0kg)

※資材等は今後変更になる場合もございます
 ※天候・圃場条件により時期や肥料施用量等前後する場合もございます